

「台湾農業セミナー IN 北海道」で講演する謝欽城博士

(北海道新聞、平成 24 年 9 月 4 日)

台湾向け道内農機 P R

札幌 関係者招きセミナー



台湾農業の機械化について課題を説明する謝博士

道内の農業機械を台湾に売り込むためのセミナーが3日、台湾農業の専門家を招き札幌

市内で開かれた。専門家は台湾農業の課題としてタマネギなどの収穫の機械化を挙げた。経済産業省の外郭団体、貿易研修センター

(東京)などの主催。台湾では野菜収穫の機械化が遅れており、道内メーカーが昨年、台湾での展示会にニンジン収穫機を出展したところ好評だったため、今年には道内ツアーを企画。台湾から農業改良や農機具商社の責任者ら12人が参加した。台湾国立屏東科技大

学の謝欽城博士が講演し、「タマネギと枝豆の収穫の機械化が重要課題になっている」と説明した。台湾の専門家は、4〜5日にオホーツク管内訓子府町と北見市でタマネギの収穫作業を、6日に岩見沢市で枝豆の収穫作業を視察する。7日は北大などを訪れる。